

子どもたちの持続可能なスポーツ環境を考える

# 部活動の地域移行フォーラム

※ スポーツ庁・文化庁「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(令和4年12月)」では令和5～7年度までを改革推進期間と位置づけ、公立中学校等を対象として休日の部活動から段階的に地域移行を進めることとしています。

**日時** 令和6年 **12月16日**(月) 14:00～16:30

**場所** 北海道立道民活動センターかでの2・7 1階 アスビックホール  
(札幌市中央区北2条西7丁目) ※申込者限定で【アーカイブ】を期間限定公開します。

**対象** 自治体スポーツ・教育関連部門、学校関係者、スポーツ関連団体 など

**定員** 300名 (要申込み・先着順/参加無料)

## プログラム

### 基調講演 「部活動の地域連携・地域クラブへの移行と地域スポーツ環境の整備」

—14:05-15:00



スポーツ庁地域スポーツ課 課長補佐 竹河信裕 氏

民間企業や市役所での勤務を経て、2013年4月に文部科学省に入省。スポーツ・青少年局スポーツ振興課、スポーツ庁健康スポーツ課、国際課等で勤務し、令和5年4月から、スポーツ庁地域スポーツ課で部活動の地域連携・地域クラブ活動への移行に向けた環境整備を担当。学生時代は、美術部、テニス部等に所属。

### パネルディスカッション 「子どもたちの持続可能なスポーツ環境の再構築に向けて」

—15:10-16:30



安平町教育委員会 教育長 井内聖 氏

(北海道教育庁「地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト」実証自治体)

公立中学校教員を経て幼児教育へ転身。私立幼稚園・子ども園長等を務めた後、学校法人経営者を務める傍ら令和5年4月より安平町地域プロジェクトマネージャーとして部活動の地域移行を推進する。本年5月より安平町教育委員会教育長に就任。世代を超えてスポーツ・文化に親しめるまちづくりに取り組む。



スポーツデータバンク株式会社 代表取締役 石塚大輔 氏

(北海道教育庁「地域スポーツ連携・協働再構築推進プロジェクト」アドバイザー)

スポーツ事業領域における地域課題解決型事業の専門家として従事。現在は、学校部活動などを中心としたスポーツ庁、経済産業省などの委員会へ有識者として参画し、学校部活動の地域移行を契機とした新たな地域スポーツの環境整備にかかる事業設計、多産業との連携によるスポーツを通じたまちづくりの戦略策定を展開している。



国立大学法人北海道教育大学 岩見沢校キャンパス長 山本理人 氏

(北海道教育庁「部活動の在り方検討支援アドバイザー派遣事業」)

1962年東京生まれ。東京学芸大学大学院修了。専門は体育科教育学、スポーツ教育学。主に生涯学習社会におけるスポーツ学習支援のあり方について研究を行っている。現在、日本体育科教育学会常任理事、公益財団法人北海道スポーツ協会評議員。

**モデレーター** 北海道教育庁 学校教育局長 伊藤伸一

**主催** 北海道教育委員会 (スポーツ庁委託事業)

**協力** (公財)北海道スポーツ協会  
経済産業省北海道経済産業局

**運営・お問い合わせ**

株式会社北海道二十一世紀総合研究所 (担当: 碓井、高松)

Email: sports@htri.co.jp / Tel: 011-231-3053

■ 下記URL または 右側の2次元バーコード  
よりお申し込みください (締切: 12月11日[水])

<https://forms.gle/eawtXWmmdbCJc6h3A>

